

令和5年度 現代的課題対応研修

地域学校協働活動推進のためのコーディネーター研修

# 本研修の趣旨について

福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室

社会教育主事 嶋本 光司

# はじめに

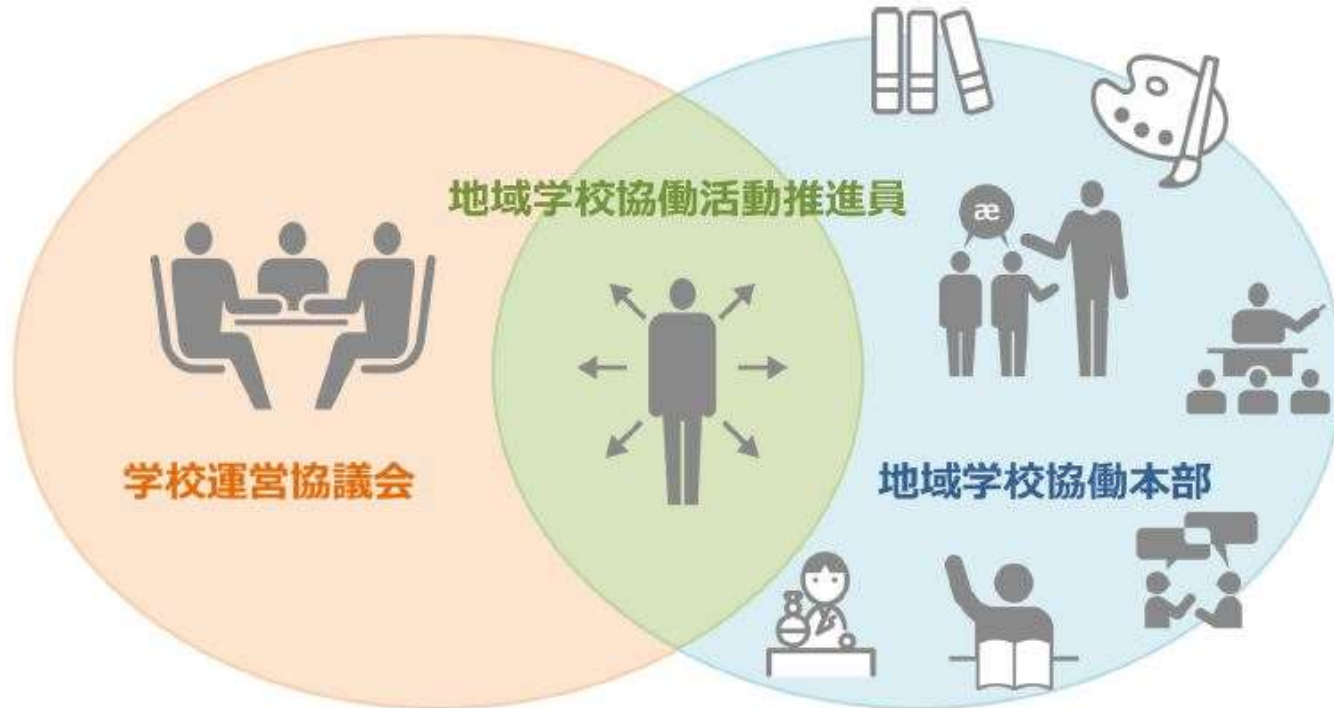


# 一体的推進

共通の目標や課題

緩やかなネットワーク

連携・協働して活動

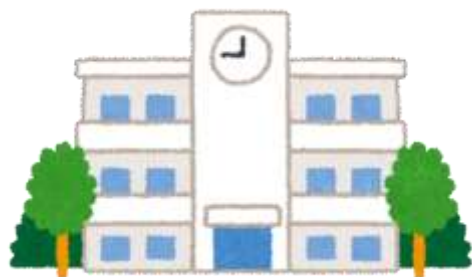


地域と学校、そして地域  
そのものつながり強化

コミュニティ・スクールの  
目標に向けた活動を具現化

# 一体的推進

## コミュニティ・スクール



## 地域学校協働活動



- 効果的な学習や活動
- 子供と地域の方々とのつながり
- 子供たちの地域への理解・愛着

- 生きがいや自己実現
- 地域住民どうしのつながり
- 地域の活性化

# 国の方策

## コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 最終まとめ（概要）

令和4年3月14日

～ 学校と地域が協働する新しい時代の学びの日常に向けた 対話と信頼に基づく学校運営の実現 ～

経緯：平成29年の地教行法改正法附則において、施行後5年を目標として、学校運営協議会の活動の充実・設置の促進を図る観点から、学校運営協議会の在り方について検討を加えることとされている

### 1. コミュニティ・スクールに関する現状 2. コミュニティ・スクールの成果と課題

- コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民等が学校運営に参画する仕組みとして、平成16年の地教行法の改正により制度化
- 平成29年の地教行法改正により、学校運営協議会の設置が各教育委員会の努力義務化
- ▶ 平成29年改正法により、導入数は飛躍的に増加（令和3年5月時点で11,856校（全国の公立学校の33.3%）が導入）
- ▶ 教育課程や働き方改革等学校運営に大きな効果、コロナ禍において地域との連携・協働による学校運営の重要性を一層認識
- ▶ 導入状況の自治体間・学校種間格差や、導入したものの十分な協議がなされず形式的な学校運営協議会になっている事例



### 3. これからのコミュニティ・スクールの在り方

- 現行の制度（学校運営の基本方針の承認等3つの権限、教育委員会の努力義務等） → 現行制度下において導入数の飛躍的な伸びや学校運営への多大な効果
- 導入促進上の課題や運営上の課題（類似の仕組みとの混同、形式的な会議、学校支援活動との混同等） → 関係者の更なる理解促進が必要

#### 【これからのコミュニティ・スクールの在り方】

関係者の十分な理解と相互の信頼関係の中で、**教育長のリーダーシップの下、教育委員会が主体的・計画的にすべての学校へのコミュニティ・スクールの導入を加速し、国はその取組を支援。地域との連携・協働により、対話と信頼に基づく学校運営を実現**

#### 【取組の方向性】

##### (1) コミュニティ・スクールの導入促進

- 教育委員会による導入計画の策定
- 国や都道府県等の丁寧な説明等により、類似の仕組みからの段階的な移行を促進
- 高校、特別支援学校、幼稚園等においても、学校種の特徴を踏まえつつ導入を推進

##### (2) コミュニティ・スクールの質的向上

- 学校と地域をつなぐ総合的な企画・調整役を担う地域学校協働活動推進員の配置促進・機能強化
- 都道府県教育委員会へのアドバイザーの配置等、教育委員会の伴走支援体制の構築
- 適切かつ多様な学校運営協議会委員の人選

##### (3) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- 両取組の相乗的な連携・協働の推進
- 学校と地域が連携・協働した教育活動により、放課後等の学習支援等、多様な課題への対応を推進
- 子供たちの地域社会への参画や大人の学び等、地域課題解決のプラットフォームとしての活用

### 4. コミュニティ・スクール推進のための国の方策

- 教育委員会の主体的・計画的な取組、活動への支援（地域学校協働活動推進員の配置促進・常駐的な活動の支援、教育活動充実のための支援等）
- 教育委員会の伴走支援体制構築の支援（都道府県教育委員会へのアドバイザーの配置促進、CSマイスターの派遣等によるプッシュ型支援、研修支援等）
- コミュニティ・スクールに関わる関係者の理解促進（教育長・首長の理解促進、フォーラム・広報の実施、コミュニティ・スクールの実態把握等） など

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進により、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現

# 国の方策

## (3) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- 地域学校協働活動推進員をつなぎ役とした  
両取組の相乗的な連携・協働の推進
- 学校と地域が連携・協働した教育活動により、  
放課後等の学習支援等、多様な課題への対応  
を推進
- 子供たちの地域社会への参画や大人の学び等、  
地域課題解決のプラットフォームとしての活用

# 新たな教育振興基本計画（6/16閣議決定）

## 我が国の教育をめぐる現状・課題・展望

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

### 【社会の現状や変化】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大
- ・ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化
- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・共生社会・社会的包摂
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・18歳成年・こども基本法 等

▶ 教育振興基本計画は予測困難な時代における教育の方向性を示す羅針盤となるものであり、教育は社会を牽引する駆動力の中核を担う

### 第3期計画期間中の成果

- ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善
- ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、連携・統合のための体制整備
- ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や耐震化 等

### 第3期計画期間中の課題

- ・コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞
- ・不登校・いじめ重大事態等の増加
- ・学校の長時間勤務や教師不足
- ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化
- ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷
- ・博士課程進学率の低さ 等

## 次期計画のコンセプト

### 2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく
- ・社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上等による、活力ある社会の実現に向けて「人への投資」が必要
- ・Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

### 日本社会に根差したウェルビーイング（※）の向上

- ・多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育の在り方
- ・幸福感、学校や地域でのつながり、利他性、協働性、自己肯定感、自己実現等が含まれ、協調的幸福と獲得的幸福のバランスを重視
- ・日本発の調和と協調（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続可能な幸福を指す。

## 今後の教育政策に関する基本的な方針

### ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・主体的に社会の形成に参画、持続的社会的発展に寄与
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、大学教育の質保証
- ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・グローバル化の中で留学等国際交流や大学等国際化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・リカレント教育を通じた高度人材育成

### ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育ニーズへの対応
  - ・支援を必要とする子供の長所・強みに着目する視点の重視、地域社会の国際化への対応、多様性、公平・公正、包摂性（DE&I）ある共生社会の実現に向けた教育を推進
  - ・ICT等の活用による学び・交流機会、アクセシビリティの向上
- 人生100年時代に推進化する生涯にわたって学び続ける学習者

### ③地域や家庭と共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手となる

### ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

DXに至る3段階（電子化→最適化→新たな価値(DX)）において、第3段階を見据えた、第1段階から第2段階への移行の着実な推進

GIGAスクール構想、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進

教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進

デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

### ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進、ICT環境の整備、経済状況等によらない学び確保

NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保

各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

# 福岡県の施策

| 柱               | 項目       | 施策                            | 事業等                                                                                                            |
|-----------------|----------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育の充実           | 学力、体力の向上 | 学力の向上                         | <u>地域学校協働活動事業</u>                                                                                              |
|                 | 豊かな心の育成  | 実体験を重視した教育の推進                 | 地域活動指導員設置事業<br>ふくおか体験活動出前隊事業                                                                                   |
|                 |          | 幼児教育の充実                       | 子育てに関する学習機会や情報提供                                                                                               |
|                 |          | 読書活動の充実                       | 読書好きを育む環境づくり応援事業                                                                                               |
|                 |          | 学校、家庭、地域の連携・協働体制の整備、家庭教育支援の充実 | <u>地域学校協働活動事業</u><br>家庭教育を支援する取組<br>県PTA連合会「新」家庭教育宣言」支援相談事業                                                    |
| 共助社会づくり、生涯学習の推進 | 生涯学習の推進  | 社会教育の推進                       | ふくおか社会教育応援隊事業<br>社会教育関係団体等に対する支援・補助<br>社会教育関係職員の資質向上<br>学習情報の提供及び学習相談の充実<br>県立社会教育施設の機能充実<br><u>地域学校協働活動事業</u> |



# 福岡県の現状

## 〈コミュニティ・スクール導入率〉

県内の公立学校のうち、

**36.4%**

(令和4年5月1日時点)

前年度  
31.1%

5.3 p ↑

## 〈地域学校協働本部整備率〉

県内の公立学校のうち、

**63.2%**

(令和4年5月1日時点)

前年度  
59.0%

4.2 p ↑

「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について(令和4年9月・文部科学省)」より

# 福岡県の現状

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部を  
ともに整備している学校

73.0%

(令和4年度)

前年度  
54.0%

19.0p↑

# 地域学校協働活動事業に関するアンケート調査結果

実際に事業に参加してみて～その効果について教えてください。

子どもたちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、子どもの学びの充実につながった



子どもたちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、子どもの地域への理解・関心が深まった



地域住民の生きがいづくりや自己実現につながった

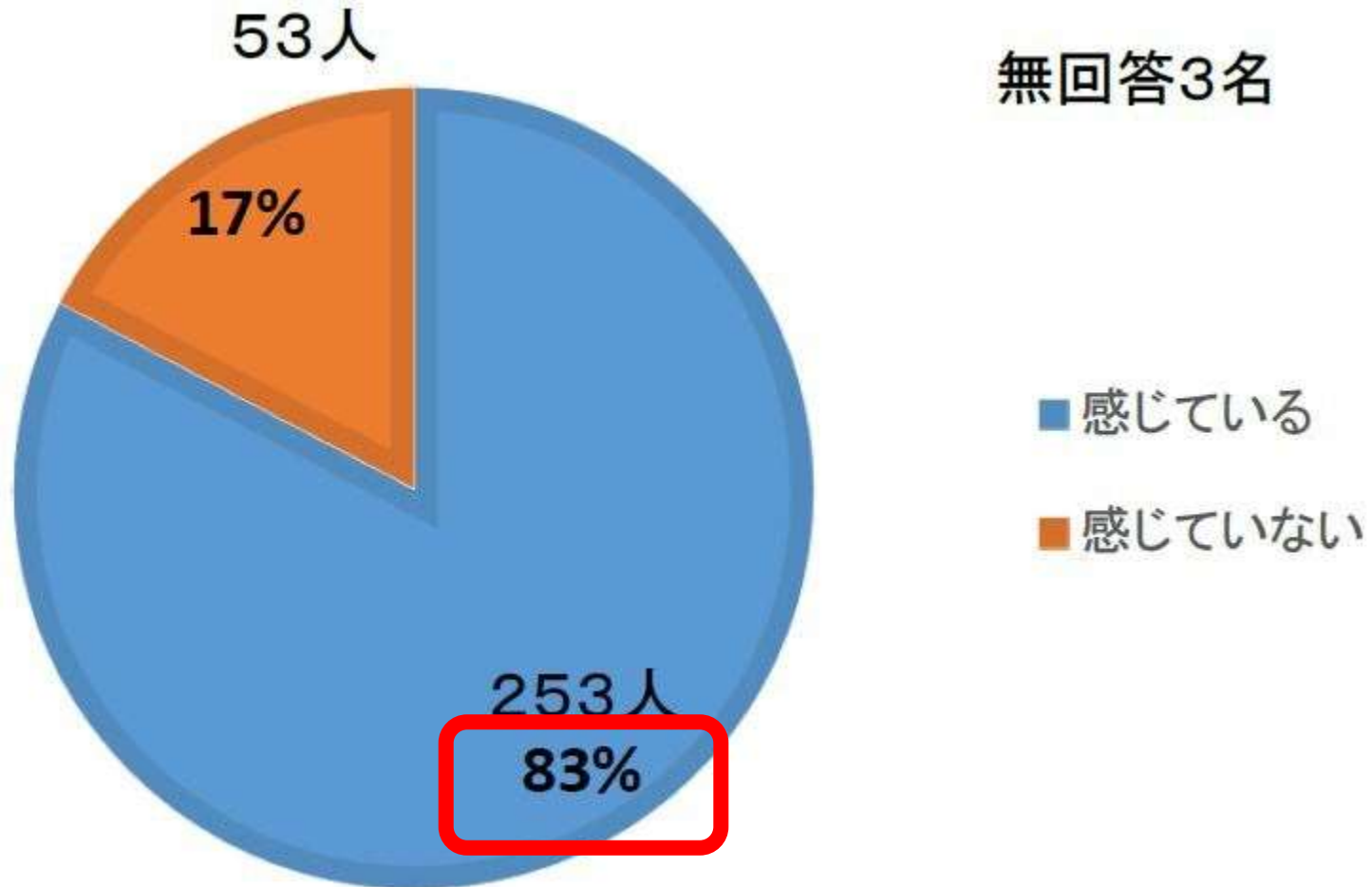


地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながった



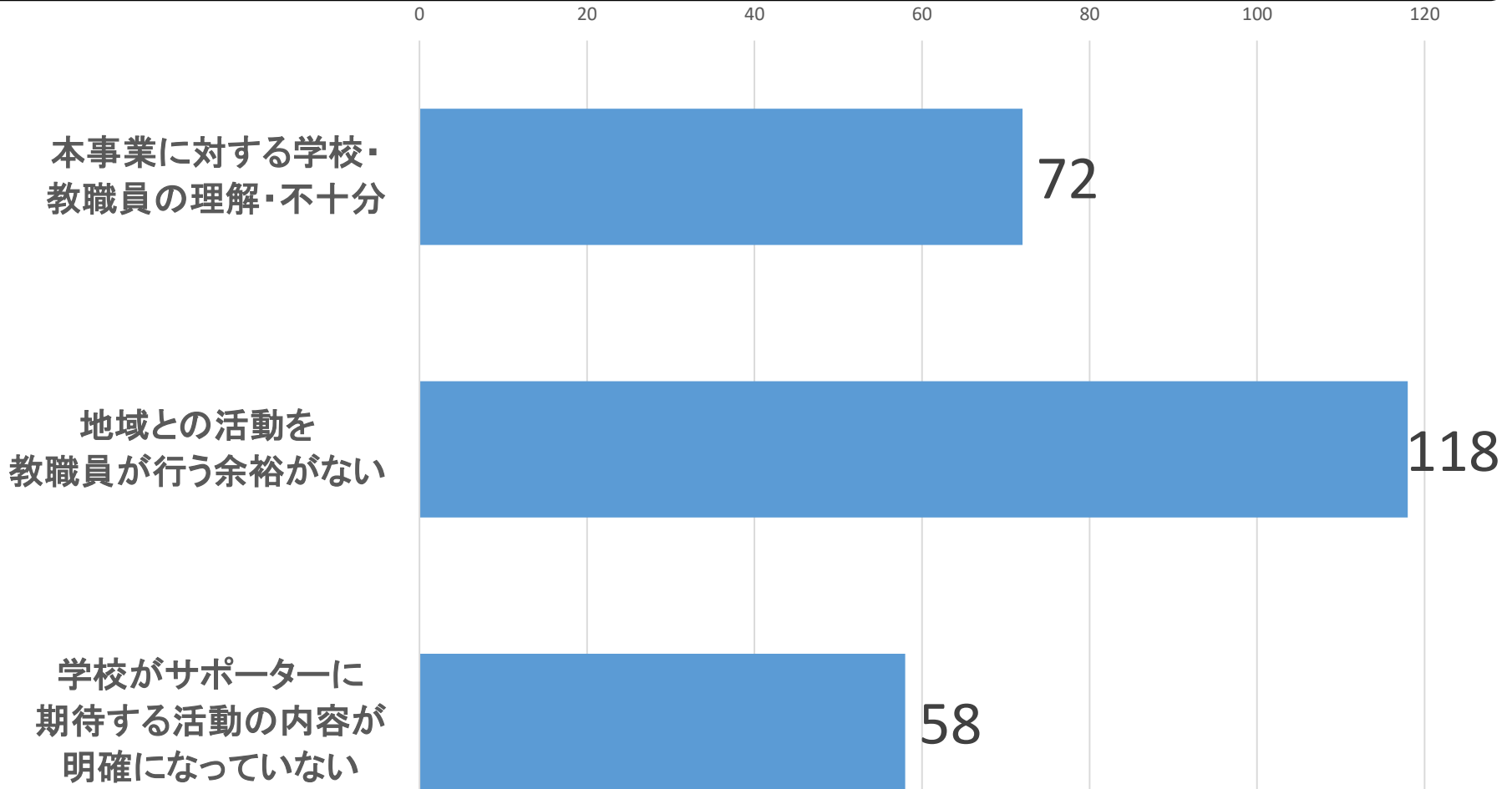
# 地域学校協働活動事業に関するアンケート調査結果

事業を実施する上で、課題を感じていますか。



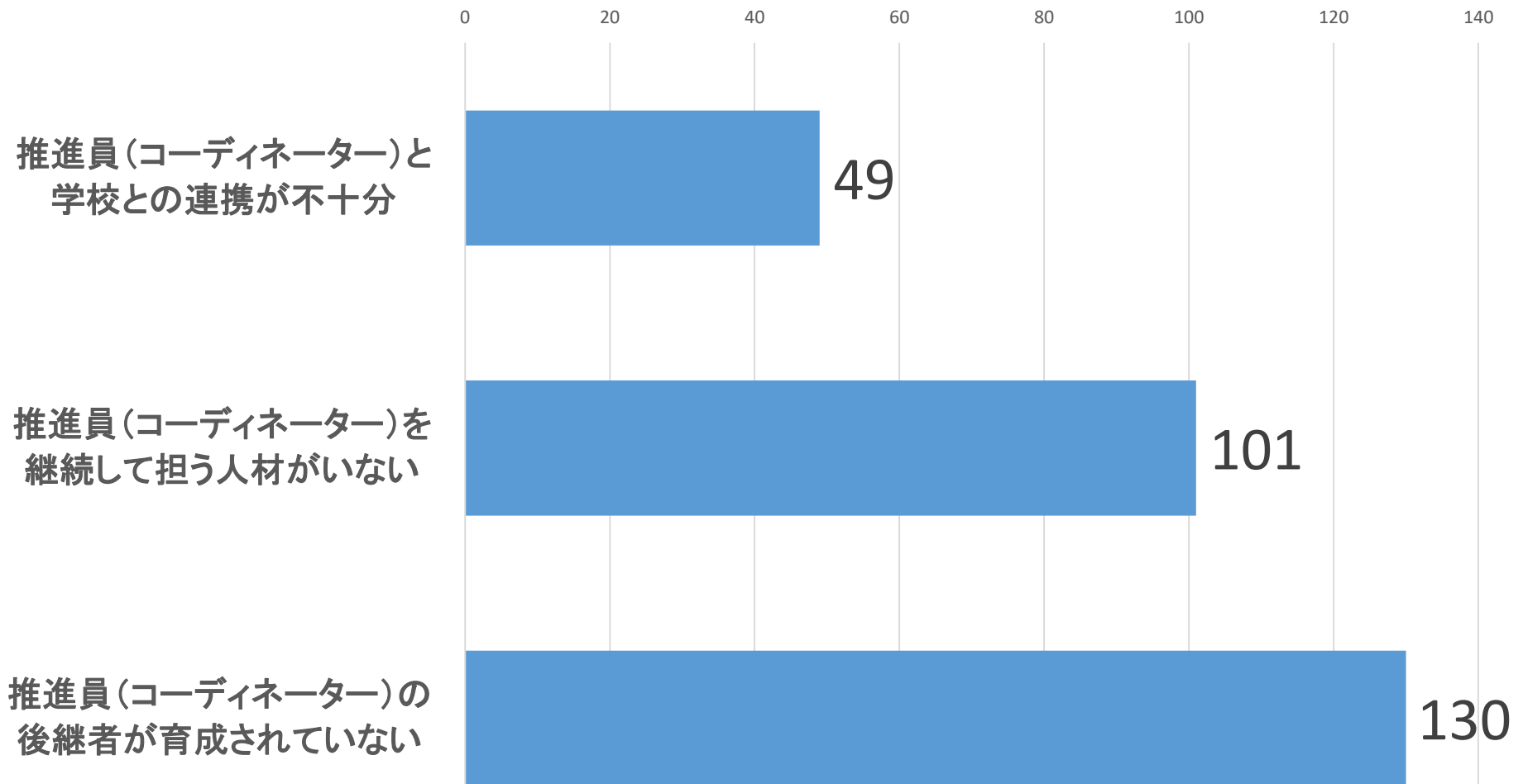
# 地域学校協働活動事業に関するアンケート調査結果

## 学校内部に関する課題（推進員の方の回答）



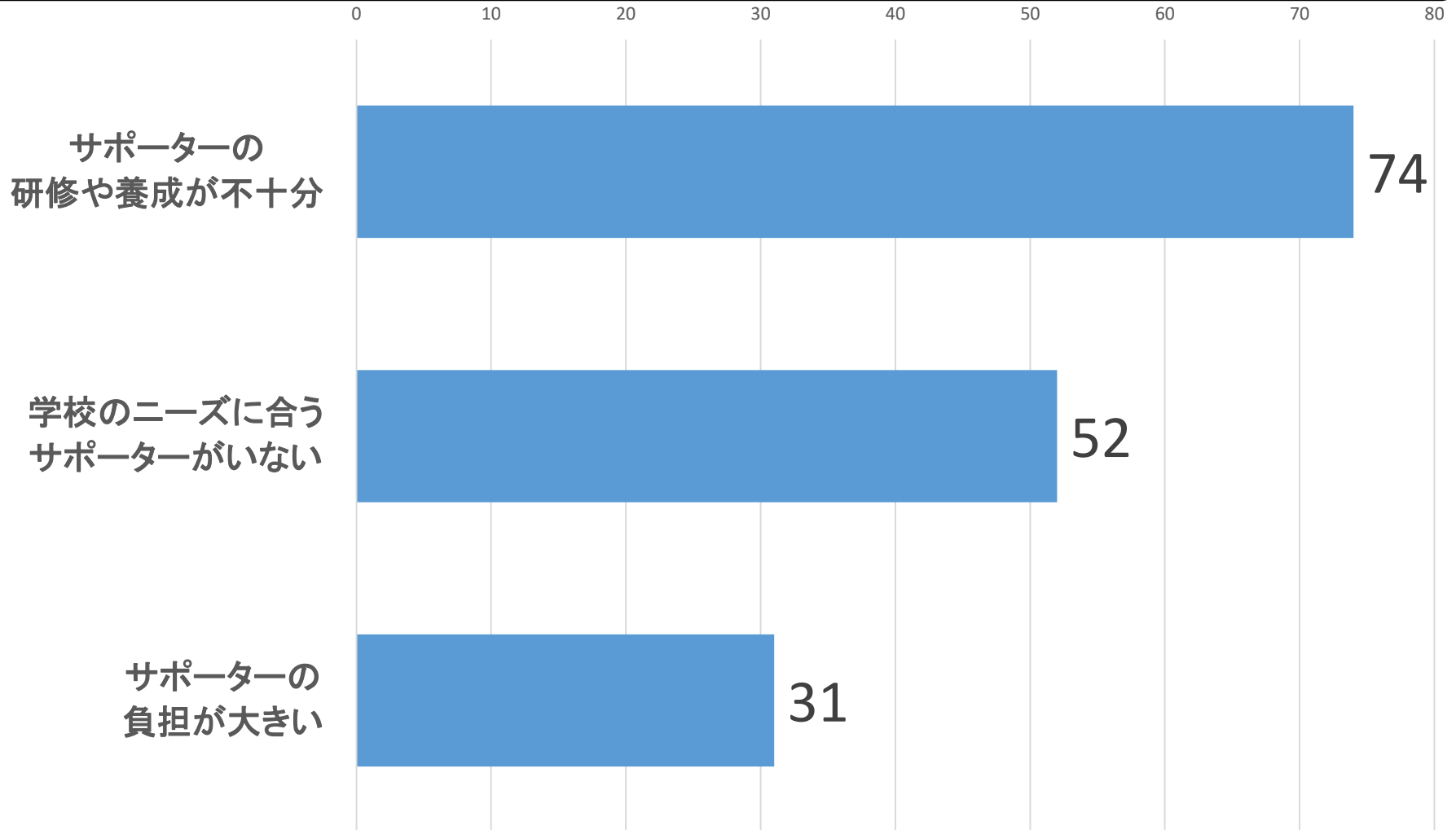
# 地域学校協働活動事業に関するアンケート調査結果

## コーディネーターに関する課題（推進員の方の回答）



# 地域学校協働活動事業に関するアンケート調査結果

## 支援スタッフに関する課題（推進員の方の回答）



# 地域学校協働活動事業に関するアンケート調査結果

課題に対して改善したことや工夫したこと（記述回答）

- 連絡・調整（直接会って）
- 場づくり（集える場…会議、茶話会など）
- 意見交換・つながり方  
（SNS、いろいろなところへ顔を出す）
- 周知（チラシ、新聞）



## 事前アンケートの結果

地域学校協働活動について課題に感じていること(記述回答)

- 地域、学校それぞれの考えをつなぐのが難しい
  - 築いていてきた関係性が教員の異動により無くなる
  - ボランティアや推進員後継者がいない
  - 学校との情報共有、共通理解が難しい
  - 活動の魅力を知らせていない
- ※地域と学校をつなぐ役割の人がいない。
- ※何をしたいのかわからない

コーディネーター

# カギを握るのは・・・

地域学校協働活動推進員  
地域コーディネーター

学校

人



人

行政

もの

こと

場

コーディネート

# 本日の研修内容

## 【研修Ⅰ】事例発表

### 安武校区で取り組んだ地域学校協働活動

久留米市立安武小学校地域学校協働活動推進員 緒方 麻美 氏

# 本日の研修内容

## 【研修2】講義

カギを握るのはアナタです！

～地域学校協働活動とは～

～地域学校協働活動推進員の役割～

## 【研修3】演習

アナタのコーディネート力をアップデート！

～地域と学校が手を取り合って創る未来に向けて～

NPO法人大分県協育アドバイザーネット  
理事長 中川 忠宣 氏

令和5年度 現代的課題対応研修

地域学校協働活動推進のためのコーディネーター研修

# 本研修の趣旨について

福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室

社会教育主事 嶋本 光司